

石井鶴三調査研究委員会

一 テーマ

上小教育と深く関わり、特に美術教育に功績の大きかった石井鶴三先生の作品展示や立体等作品展等について検討・管理・運営をし、その充実を図る。

二 テーマ設定の理由

上小教育会館内にある石井鶴三美術資料室について、多くの方々に広く利用していただけるよう、運営と管理を行う。また、石井鶴三先生の功績にちなんだ上小地区児童生徒立体等作品展も35回を数える中、各学校における立体等の作品の指導が、より一層充実できるように呼びかけ、作品展も更に充実させていきたいと願って本テーマを設定した。

三 研究の経過

- ~~第1回委員会（4月30日）…委員会組織、研究テーマ作成~~
- ~~第2回委員会（10月22日）…第35回上小地区児童生徒立体等作品展の計画~~
- 第3回委員会（11月26日）…第35回上小地区児童生徒立体等作品展の関係書類配布
- 第4回委員会（1月22日）…第35回上小地区児童生徒立体等作品展の搬入、
反省と来年度への課題のまとめ
- 第5回委員会（2月1日）…第35回上小地区児童生徒立体等作品展の搬出
※中止になった委員会の内容は、FAXでの連絡と校正を行いました。

四 研究の内容

1 石井鶴三美術友の会総会・講演会参加

今年度の総会・講演会の開催はありませんでした。

2 昨年度の第34回作品展の作品CDの配布と第35回作品展の作品CDの作成

今年度も上記CDの配布を行った。昨年度の第34回作品展では、220点余りにのぼる作品を各学校より出展していただき、その作品全ての写真撮影を行い、各校の先生方に伝えることができた。どの作品も生き生きとした子どもたちの姿が浮かんできて楽しく温かい気持ちになるものばかりである。各校の日頃の図工・美術の学習の参考資料に、また、地域への広報活動に少しでも活用できればと考えている。

3 第35回上小地区児童生徒立体等作品展の計画と実施

各校のご協力により、35回を迎えた立体等作品展を、今年度は令和3年1月23日(土)から2月1日(月)まで開催した。会場は、本年度で6回目になる上田市美術館の子どもアトリエで行った。新型コロナウイルス感染予防対策として、来場者の皆さんには健康チェックシートの記入をお願いした。土曜日・日曜日は委員が交代で当番に当たり、多くの方々に鑑賞していただいた。美術館での開催という事で昨年同様、出品した児童生徒・ご家族だけでなく、多くの美術館を訪れた様々な方々が来場した。また、作品をじっくりと時間をかけて鑑賞していく方もたくさんいた。以前は二~三百人の来場者であったが、昨年度同様、期間中4日あった休日だけで千人近くの来場者があり盛況な作品展となった。

4 石井鶴三美術資料室だよりの作成

「上小教育」の中で、石井鶴三美術資料室だよりの独立したページをいただいて11年目である。今年取り組みについて掲載する予定だが、特に上記の立体等作品展については来場者の生の感想を中心に子どもたちの生き生きした姿が伝えられればと考えている。（作品展の方が入稿より後になるので本年度は昨年度第34回の様子を掲載した。）

五 研究のまとめと課題

本年度もテーマに沿って活動をしてきた。上田市立美術館での立体等作品展も6年目となり、昨年同様多くの来場者があり、児童生徒の作品を多くの方々に観ていただけたのではないかと思う。

鶴三先生の作品の多くが上田市立美術館に展示・所蔵されているが、教育会の所蔵している作品も教育会館の石井鶴三美術資料室に保存されている。今後も広く利用促進を図っていきたい。

立体等作品展は来年度も開催する予定である。上田市立美術館との連携を進めていく中で本委員会の今後の活動の方向性も少しずつ変わってきている。委員会としての活動内容について、先輩先生や学芸員等の方々から示唆をいただきながら、来年度も進めていきたいと考える。

六 委員名簿

令和2年度 石井鶴三調査研究委員会

係名	氏名（勤務校）
推進係	中村 雅司（長小学校）
委員長	佐藤智恵子（上田第一中学校）
副委員長	小井土 恒（田中小学校）
会計	桜井 義邦（上田第三中学校）
配布物	金井 典子（西小学校）
作品集CD作成	小林 莉穂（神科小学校）
出品者名簿作成	櫻井 ゆみこ（長小学校）